



夜須町添地と香我美町堀ノ内を結ぶ市道沿いに「アジサイふれあい街道」があります。

今回は30年間アジサイにかかわり続けた葛根さん夫婦を紹介します。

## 交通事故の起こらない味を

**戦**争中は弾の中を...やがて終戦。そして無事60歳を迎えた年に、「これからは地域に奉仕の恩返しをしよう」と決めていた」と夜須町夜須川の葛根延富さんは話されました。

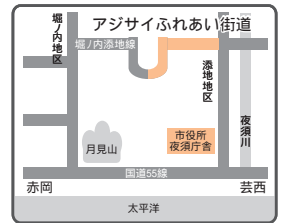
アジサイを植えようと思つたのは、開通当時の市道に雑草が生い茂り、つたかすら

が道路を覆い、カーブの多い山道で見通しが悪く、交通事故がひんぱんに起こっていたためでした。葛根さんも実際、交通事故に遭い、身をもつてこの道は見通しが悪く危ないと実感したそうです。

そのため見通しの悪い道を昭和52年ごろより開墾し、沿道にアジサイを植えることにしました。アジサイ苗も費用を節約して挿し木を繰り返し、少しずつ沿道を花で埋めていきました。

**た**くさんの人に見てもらおうと丹精込めて咲かせたアジサイを花盗人に捕られ、奥さんの三エ子さんが「花を盗まないで」という短歌の立札を立てたこともありましたが、今では道沿いに500本のアジサイが毎年6月ごろから見られます。

「花の世話は健康にもいい



し、この年になつても続けられる。世話をしゅう

ときの、きれいやねえの言葉が何よりうれしい。ありがた」と葛根さん。その長年の成果が評価され、平成17年には第10回高知県文化環境功労者表彰を受けました。

**長**い期間、花が豪華に咲くことがアジサイの特徴。咲いている時期は特に、手塩にかけた我が子を気にするかのようアジサイふれあい街道に向かいます。

そのような姿を見て、三エ子さんは、わたしよりも花を愛しちゅうがよ」と冗談を言われます。「ダーリンが一人でやってきたことでみんながよること、自分で自分もうれい」と夫婦でアジサイを愛し、一緒に咲かせ



仲むつまじい  
葛根延富さん(92歳)と三エ子さん(87歳)

てきたアジサイふれあい街道を思い返します。全長一・三kmのアジサイの道。これからもご夫婦で花いっぱい道を守っていかれることでしょう。

### 編集後記

このたびの人事異動により広報担当から離れることになりました。1年1カ月と短い間でしたが、取材の時などに各地域を訪れた時、地域の皆さんには温かく接していただきありがとうございました。

防災対策課から総務課秘書広報係へ異動になり、4月1日(日)から早速、防災対策課で携わってきた津波避難階段の取材をしてきました。立場が変わると、見る視線が変わっている自分ワクワクドキドキしています。広報の仕事は初めてですが、元気をもらえるような記事や写真を載せていきたいです。これから取材などで住民の皆さんに接することがあると思いますが、よろしくお願いします。

(近藤 誠)



### 《広報へのメール》

kouhou@city.kochi-konan.lg.jp

《香南市のホームページ》

http://www.city.kochi-konan.lg.jp



カーブの多い堀ノ内・添地線